



2013年度 活動総括

1. 待機児童対策のための活動

<待機児童解消のための署名運動>

ここ数年の待機児童対策の国の挙げての取り組みは、マスメディア等でも報道されることにより、一般社会にも認知されるようになりました。草加市でも、依然待機児童数は高止まりしています。

草加市内でも「保育園を増やし隊@草加」の方々が署名活動を開始し、私たち父母連もその活動のお手伝いをさせて頂きました。

その甲斐あり、市長自ら保育園増設を約束して頂き、議会もそれに呼応するように6月の定例議会で保育園増設の補正予算が組み込まれました。大変ありがたいことです。今年度の1園だけにとどまらず、来年度の3~4園開設が見込まれているようで、草加市の待機児童対策に対する思いが伝わってきました。

<待機児童解消のための保育士確保のお願い>

保育士不足による待機児童が顕著に出てくることになったのも昨年度からでした。

保育士一人に対して0歳児三人まで受け入れることが出来る、というような具体的な規制があります。園児の安全面からこのような規制は無くてはならないものです。なお草加市基準は国基準より厳しい規制を設けており、草加の質の高さが伺えます。

このような動かしがたい規制がある中、保育士が集まらなければ、せっかく施設に空きがあるのにもかかわらず入園出来ないという現象が起きています。昨年度、今年度は顕著にその傾向が見えはじめました。

待機児童対策は「施設の増設」「保育士の確保」の2本柱となる時代になったと言えます。私たち父母連では、保育士不足、看護師不足を解消するために市長懇談会で市に働きかけましたが、市としても限られた財政の中では苦しいと回答でした。今後もこの取り組みを続け、待機児童対策解消に向けて取り組んでいきたいと思っております。

2. わかりやすく、やりがいのある父母会・父母連づくりへの取り組み

<父母連ニュースの発行>

各保育園の保護者の皆さんに、父母連としての活動や各園での取り組みについてわかり易くお伝えするために、毎年事務局からは「父母連ニュース」を発行しています。

2013年度は、計3回発行(4/1・6/15・3/15)し、「入園・進級おめでとう号」/『父母連総会報告/草加市保育事業説明会の報告/市長懇談会報告/草加子育てのつどい報告、等々についてお伝えしてまいりました。よりわかり易いニュース作りをめざし、2014年度も取り組んでいきたいと思っております。ご意見等ございましたら、父母連メール info@soka-fuboren.org までお願いします。

<会長会・代表者会の開催/各父母会分担体制により皆で支え合う父母連活動>

昨年度は年3回の会長会(6・9・1月)そして年11回の代表者会(5・6・7・9・10・11・12・1・2・3・4月)を開催しました。(2月代表者会は積雪のため中止)

会長会では各園の状況や父母会運営についての情報交換などが行われました。

代表者会では、

- ① 母連事務局から各園への様々な事務伝達や報告
- ② 父母連活動方針や内容の検討
- ③ 各園からの報告



④ 保育情勢などに関する学習

などを行いました。各園の会長や代表者の皆さん、ご協力ありがとうございました。今年度の会議を通して出されましたご意見・反省点は、是非新年度に生かしていきたいと思ひます。

また、専従のいない父母連活動を皆で支えて行こう、との確認のもと、新年度も、昨年度に引き続き「父母連活動分担年間予定表」にもとづいて、父母連事務局の仕事を各父母会と分担し合いながら活動を行ってきました。お陰様で、事務局の負担も軽減されました。ご協力ありがとうございました。

<父母連アンケート（9月）の実施や市長懇談会（2/28）への取り組み>

父母連の活動は、各園の保護者の皆さん一人ひとりの声が集まって初めて可能となるものです。

そのためにも各園の声を会長会や代表者会で直接情報交換し合うと共に、年に1回、約1700全世帯に父母連要求アンケートを行い、一人ひとりの声を市への要望書や保育改善運動に反映させるための大変重要な取り組みを行っています。その集計結果は父母連ニュースにてご報告したり、集計結果を各園にお配りしたりしておりますので、皆さんでご覧いただいたことと思ひます。

昨年度も父母会毎にアンケートのデータ入力をお願いしたり、父母連ホームページから引き出した書式にまとめたものを父母連メールにて送付していただいたりするなど、集計作業がより効率化でき、皆さんの意見をまとめることができました。担当していただきました皆さん、ご協力をありがとうございました。これらのアンケート結果や各父母会のご意見をもとに要望書などを作成し、昨年度は2/29に開催された「市長懇談会」での話し合いなどに反映させました。今後も情報交換をしながら、よりよい草加の保育を目指すべく運動を進めていきたいと思ひます。

<父母連ホームページの充実>

2006年度に立ち上げた父母連のホームページですが、2007年度以降は父母連の活動をより多くの方に知っていただくために「父母連の活動／草加市の保育園／これからの予定／おしらせ」などの内容の更新を行ってきました。これまで専従体制のない中でなかなか更新がままならない時期もありましたが、定期的な各会議報告の更新、関連団体のイベントのお知らせ等を掲載しました。今後もより活用できるサイトにしていきたいと思ひます。

またこれまで以上に父母連メール info@soka-fuboren.org を通して、皆さんのご意見・ご質問をキャッチし、父母連事務局としてできるだけ迅速に対応することができました。新年度も、ホームページや父母連メールが情報発信の役割だけではなく、回答用紙のダウンロードや回答のメール送信、問い合わせ等の相互に情報交換できる役割も果たせるよう工夫していきます。ホームページやメールを通して、父母連活動が父母連会員一人ひとりにとって身近でわかりやすく、リアルタイムに声を反映できるよう工夫していきたいと思ひます。

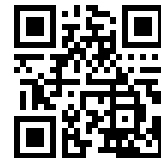
父母連ホームページ

<http://www.soka-fuboren.org/>



父母連 E メールアドレス

info@soka-fuboren.org



3. 私たちが自身が学べる組織活動をつくる取り組み

<子ども子育て支援新制度（10/21）／草加子育てのつどい（2/2）の開催>

来年の4月、保育に関するシステムが戦後最大の変換期をむかえます。

これまでのシステムを根本から変えるこの制度には課題点や問題点が数多く指摘されています。そこで父母連としてはこのシステムについてより多くの保護者や保育士とともに学習し、制度について知る



ことが必要と考え 10/21 に自治労連草加市職員労働組合保育部会との共催で「子ども・子育て支援新制度」を学ぶ勉強会を開催しました。

講師には立教大学の浅井春夫さんをお迎えし、新しい制度では保育システムや手続きはどうかを具体的に学ぶことができました。問題点も明らかとなり、今後私たちが草加市でどのような運動を展開すべきか、示唆に富んだお話を聞くことができました。当日は保護者・保育園職員を始めとする多くの方にご参加頂き、盛況となりました。

また、今年は6月6日(金)に学習会が予定されています。来年度から草加市でも始まる制度ですので、9月議会、早ければ6月議会にて採択されます。皆様のご参加をお待ちしています。

そして昨年度も無事「草加子育てのつどい」を開催することができました。各保育園父母会からたくさんの参加者を募り、ご参加いただきました。おかげさまで大勢の参加者で楽しく有意義なイベントとなりました。

つどいの記念講演では、蔵持康子先生(元鳩ヶ谷市里保育所所長)をお招きし、「子育て疲れていませんか」をテーマにお話をいただき、親として子供の接し方について教えていただきました。

子ども向け企画では、劇団風の子の「いやだいやだのぺんぺろぺえ」を上演し、本物の演劇を間近で見られる貴重な機会を提供することができました。



各園父母会主催「CAPワークショップ」への補助>

昨年度の「CAP (Child Assault Prevention 子どもへの暴力防止) ワークショップ」は各父母会企画で行い、父母連としては大人ワークショップの講師交通費と子どもワークショップ1回分の講師交通費を補助する形で応援してきました。新年度も子どもを守る取り組みを支援することを目的に、各園への補助を行っていく予定です。

4. 共同の輪を広げる取り組み

<「第8回育成保育保護者交流会」(9/28)の実施>

草加市内には2010度4月から公立の早期療育施設として子育て支援センターが開所されましたが、未だに障がいのあるお子さんの数が多く、十分に利用できない面も見受けられるのが現状です。また両親共働きの家庭においては市の育成保育制度を利用することとなりますが、各園に在籍している育成保育のお子さんは数名です。そのような状況で、保護者同士の交流や情報交換の場として父母連が提供してきている「育成保育保護者交流会」が今年も開かれました。育成保育保護者のみなさんの交流の輪が着実に広がっています。参加者の「もっと就学に関する情報がほしい」との要望を受けて、昨年度は学童保育の会主催の「学童発達保障プロジェクト」から、障がいがありながら学童保育にお子さんを預けている保護者の方々にも参加いただき、学齢前から学齢期への切り替わりの時期、学校選択等で悩む保護者への的確なアドバイスをいただきました。今後も育成保育の保護者同士の情報交換・学習の場として交流会を開催し、情報を積極的に発信してきます。

<民主教育をすすめる草加市民会議>

主に小中学校・高校の教育の課題に取り組むゆるやかな集まりで、父母連も団体で加入しています。少人数学級の実現や市内の小中学校の給食の民営化問題、定時制高校廃止問題等私たち保育園保護者が数年後に当事者として直面する学校教育をめぐることから、学校の先生、学童保育の指導員や保護者、女性団体と日常的に意見交換やとりくみを作っています。父母連からは保育情勢を発信し、この会にあ

つまる市民との共有や一緒のとりくみをすすめています。

＜草加母親大会＞

「生命を生み出す母親は 生命を育て 生命を守ることをのぞみます」を合言葉にした半世紀以上の長い歴史のある、母性を核にして暴力と貧困のない世の中作りを取り組む運動体に、草加父母連も加入しています。9月の草加母親大会では父母連も運営責任団体として会場準備等にかかわりました。

